

【1頁より】

アマゾンの書籍販売シェアは、14年という単純に21%から26%となる。現実には取次を通さないe託もあるので、数字はもう少し下がるが、さまざまな版元の話の聞いていると、2割を超える売り上げシェアにはなっていると思われる。だんだんアマゾンにもの言えなくなる水準に近づいている。

その再販問題だが、「文化通信」によると、アマゾンは今年を書籍販売における「ポイント・価格訴求元年」と位置づけ、ポイント還元や時限再販を活用した「再販制度の枠組みの中で」の割引販売を積極的に進める方針で、出版社に時限再販品の出荷の増加、直取引などを呼びかけている。説明会にはマーケティング契約を結んでいる150社、360人が集まったという。価格訴求では、廃棄予定の滞留在庫を一括買い取り安売りするなどするという。

でも、これも変な話である。現在の再販制度のもとでは、再販売価格維持行為をするかしないか、どの程度するかは当該出版社が決定することであって、巨大流通業者がマーケティング契約のもとに取引先を集めて、時限再販をこの程度やってくれとか、あれこれというのは、時限再販等を強制するようなもので、不公正な取引方法にあたるのではないかと。流通業者があれこれ言うべきことではないのである。

公取委は、出版協会社員社がアマゾンのポイントカードで記者会見をやろう

とすると、すぐに共同行為ではないか、独禁法に抵触する恐れがあるなどと、事実上の圧力をかけてくるのに、アマゾンには事情聴取をしているのだろうか?

ともあれ。私たちが予想していたとおり、アマゾンのポイント攻勢は新たなポイントサービス合戦などを誘発しはじめた。楽天ブックスの楽天ヤングや日書連会長の弾力運用発言しかりである。

『新潮45』2月号が『『出版文化』こそ国の根幹である』という特集を組んでいて、紀伊國屋書店の高井昌史社長が「日本の出版文化を守りたい…アマゾンと闘う理由」を寄稿している。現状認識は共有できるが、解決策には疑問が多い。再販制と委託販売制を見直し、雑誌と書籍に時限再販を導入しようとの提言である。アマゾンがやるならこっちも、背に腹は代えられないということなのだろうが、このやり方ではたして勝てるのだろうか。気持はわかるが、値引き合戦をはじめれば、体力のない書店から倒産・廃業していくだけだ。アマゾンの思う壺ではないだろうか。

時限再販となれば委託を止めて買い切りということになり、市場は縮小する。買い切りでも結局、売れなければ、出版社は書店や取次店に返品を強いられる。力の弱い出版社になればなるほどそうなる。他の小売業界でも売れ残りの返品を強いられる返品条件付き買い

切り取引はいくらでもある。

繰り返しになるが、再販制度は出版社に守る気がなければ崩れてしまう。出版社だけが自らの意思で再販売価格維持行為をできる。再販売価格維持行為をしたくない出版社は、時限再販も部分再販もしてよいことになっている。出版社次第なのだ。いま出版社に求められていることは、再販制度を守ることが、出版社の安定的な再生産を保証し、読者に多様な出版物を供給し、著者に安定的な印税をもたらすことにつながるという確信を持つことであろう。そして再販制度を守る必要があると確信するならば、例えばルール無視のアマゾンには出荷停止で望むなどルールを守る努力をして、そしてルールを守る書店に頼って生き残りを図ればいいのか。

これは小社の話だが、アマゾンのことは話題にもならなくなった。アマゾン抜きでも本は売れるということが、この10カ月の経験ではっきりしたからだ。出版社として納得できる本をつくろう。そうすれば読者はどこかの書店で買ってくれるのだ。

アメリカでは、アシェットが電子書籍の価格決定権を要求して、アマゾンと果敢に戦って、押し切った。そうした気概と実行力が、長期の出版不況の中で出版社になくなってきているのが、悲しい現実である。日本にはアシェットはいないのか?

●会員社一覧【2014年2月現在●90社】

【あ】	吉夏社	三一書房	千書房	七つ森書館	本の泉社
阿吽社	気天舎	三元社	創森社	南方新社	ほんの木
亜紀書房	弓箭書院	山文社	創土社	日本経済評論社	【ま】
あけび書房	教育史料出版会	三陸書房	草風館	にんげん出版	明月堂書店
梓出版社	雲母書房	時潮社	【た】	【は】	めこん
アットワークス	健学社	社会評論社	第三書館	バイインターナショナル	木犀社
アーニ出版	健康と良い友だち社	情況出版	大蔵出版	白澤社	【や】
ありな書房	現代企画室	松柏社	田畑書店	書籍工房 早山	唯学書房
一光社	現代書館	不知火書房	知泉書館	晩成書房	有志舎
インパクト出版会	現代人文社	新宿書房	筑波書房	ひとなる書房	【ら】
【か】	皓星社	新泉社	柘植書房新社	批評社	リベルタ出版
海象社	合同出版	水声社	東京漫画社	フィルムアート社	緑風出版
凱風社	コスモの本	スタジオクッククリエイティブ	東信堂	風濤社	れんが書房新社
解放出版社	コモンズ	青灯社	同時代社	風媒社	論創社
海鳴社	【さ】	誠文図書	東洋書店	ブロズ新社	
花伝社	桜井書店	世界書院	都政新報社	べりかん社	
雁思社	彩流社	せりか書房	【な】	北樹出版	